

## 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表： 令和 2年 3月 6日

事業所名       ナナホシ蘇原事業所      

|          | チェック項目   | はい | いいえ | 工夫している点   | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標   |
|----------|--|----|-----|---|--|
| 環境・体制整備  | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である  | 5  | 0   | 広いスペースを確保し、遊具が活動の妨げにならないよう配置してある。   | 活動内容や利用者の状況を考慮しながら、外部の施設などの広い施設を利用しています。   |
|          | 2 職員の配置数は適切である   | 2  | 3   | 職員募集。送迎の関係で、支援室に残るスタッフが手薄で足りないと感じることもある。                                    | 法令で必要とされる人員配置基準を満たした職員数を配置しています。   |
|          | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている   | 1  | 4   | 食べたり制作したりする場にはマットを置いて、視覚的にわかりやすく場を区切っている。現在、バリアフリー化は適切ではないが、対象児童によって対応している。 | 利用者の状況に応じ、適切な環境整備をするよう心掛けています。   |
|          | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている  | 5  | 0   | 清掃は、毎日職員全員でおこない、清潔を保てるようにしている。  | 清潔な空間に保つため、室内や物品のこまめな拭き取り掃除などを行っています。  |
| 業務改善     | 5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している  | 5  | 0   | ミーティング時に改善点を振り返って目標設定をし、子どもの課題と支援の方向性について検討。                                | 日々の支援の振り返りは、随時職員間で行っています。今後も継続して情報共有し、業務改善につなげていきます。   |
|          | 6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている  | 5  | 0   | 評価表の他に、利用についてのご要望をお聞きするアンケートなどを行ったり、送迎時に保護者様からのご要望を共有したりして、問題点は改善につなげている。   | アンケート調査での結果を職員間で話し合い、今後の業務改善へつなげていきます。   |
|          | 7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している                                   | 5  | 0   | 自己評価結果は、毎年3月、ホームページにて公開。  | 自己評価結果は、毎年3月、ホームページにて公開。   |
|          | 8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている   | 0  | 5   | 事業所全体の外部評価は実施していない。   | 外部機関において支援の適正を評価していただいていません。今後の課題だと考えています。   |
|          | 9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している  | 5  | 0   | 可能な限り積極的に行っている。   | 随時研修会などに参加し、資質向上を目指しています。  |
| 適切な支援の提供 | 10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している  | 5  | 0   | 保護者、スタッフ、相談支援員から聞き取りを行い、児童発達支援管理責任者が計画を作成している。                              | 事業所内で共通のアセスメントシートを用いて評価をし、子どもや保護者のニーズに沿った計画を作成しています。   |
|          | 11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している  | 5  | 0   | 事業所グループ内の統一ツールがある。  | 事業所内で共通のアセスメントシートを使用しています。   |
|          | 12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 5  | 0   | 児童発達支援管理責任者が中心になって、スタッフと話し合いながら行っている。                                       | ガイドラインを意識して、利用者の発達段階、特性、年齢に応じた支援内容を盛り込むことが出来るよう心がけていますが、まだ不十分な部分もあると思われます。ガイドラインの視点を取り入れつつ、今後もより適切な支援内容を設定できるよう努めます。 |
|          | 13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている   | 5  | 0   | 支援計画を定期的に確認している。  | 支援内容などを確認し、児童発達支援計画に沿った支援が行われるようにしている。   |
|          | 14 活動プログラムの立案をチームで行っている  | 5  | 0   | 月1回の3事業所合同のイベント会議において、各事業所の担当職員が発案、計画して行っている。                               | 職員間で情報を共有しながら、活動プログラムを立案しています。   |
|          | 15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している  | 5  | 0   | プログラム活動は行っていないが、利用者の発達段階、興味のある遊びを探り、安全に楽しい時間を過ごせるよう、活動を工夫している。              | 今後も工夫した活動を継続して行います。  |
|          | 16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している  | 5  | 0   | 粗大運動、微細運動などやルールのある遊びを取り入れた計画を、子どもの発達に応じて作成している。                             | 子どもの発達や特性などを考慮して組み合わせを決定し、児童発達支援計画を作成しています。  |
|          | 17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している  | 5  | 0   | 毎朝、職員全員でおこない、情報共有できるようにしている。  | 毎朝ミーティングを行い、必ず職員間で伝達事項と子どもの様子の確認を行っています。   |
|          | 18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している   | 5  | 0   | 一人ひとりの様子を確認し、送迎時の保護者様からの連絡事項など共有している。                                       | 支援後には、送迎時の保護者からの連絡事項を日誌に記入し、翌朝の職員間で情報を共有しています。   |
|          | 19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている  | 5  | 0   | 毎日、各利用者の支援記録をとり、翌朝のミーティングにおいて検証・改善を行っている。                                   | 日々の支援の様子は、ケア記録・生活記録として毎回記入し、支援の検証・改善につなげています。  |
|          | 20 定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している   | 5  | 0   | 発達の状況を分析し課題につなげている。   | 6ヶ月ごとにモニタリング、アセスメントを実施し、計画の見直しをしています。  |

|              |    |  |   |   |   |   |
|--------------|----|--|---|---|---|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している  | 0 | 5 | 今年度は、なかった。  | 今年度は、会議がなく参画していませんが、あれば、児童発達支援管理責任者及び指導員が会議に参画予定です。                           |
|              | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている  | 5 | 0 | 母子保健との連携はないですが、各務原市子ども部会には、必ず参加している。  | 継続して行っています。   |
|              | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている                         | 0 | 5 | 対象となる子は受け入れしていない。   | 医療的ケアが必要な子どもの受け入れがないため、専門職員の配置はしていません。  |
|              | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている                                     | 0 | 5 | 対象となる子は受け入れしていない。   |   |
|              | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている  | 0 | 5 | 移行支援は、行っていない。   |   |
|              | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている  | 0 | 5 | 移行支援は、行っていない。保護者様を通して学校と連携しているが、今後直接情報共有ができるよう努力していきたい。                         | 現在、移行支援は実施していませんが、今後、必要に応じて行っていきたい。   |
|              | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている   | 5 | 0 | 児童発達支援管理責任者や指導員が、センター主催の研修に参加している。  | 研修会に参加したり、個別のケースに対する助言をいただくなど、専門機関と連携を図りながら日々の支援を実施しています。                     |
|              | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある   | 0 | 5 | 連携の機会がなく、交流できていない。  | 連携の機会がなく、交流できていないのが現状です。今後の課題として支援内容の充実へ努めます。                                 |
|              | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している  | 5 | 0 | 児童発達支援管理責任者と指導員、代表が積極的に出席。  | 継続して行っています。   |
|              | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている   | 5 | 0 | 送迎時、来所時に行っている。  | 送迎時や個別懇談時に保護者の方とお話をさせていただき、子どもの状況や課題について共通理解ができるよう努めています。                     |
| 保護者への説明責任等   | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている   | 0 | 5 | 今後行っていきたい。  | 今後は、保護者向けの学習会などの開催を検討していきます。  |
|              | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている   | 5 | 0 | 契約時に説明している。   | 利用前の面談、契約時に丁寧な説明を心掛けています。ご不明な点がありましたら、随時職員に申し出ください。改めて説明させていただきます。            |
|              | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 5 | 0 | ガイドラインの存在をご存じないので、契約時、個別支援計画の作成の説明時に、開示している。                                    | 契約時、個別支援計画の作成の説明時にガイドラインを開示し、児童発達支援計画の支援内容は保護者に説明をし、同意を得ています。                 |
|              | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている  | 5 | 0 | モニタリング、電話、送迎時、来所時に、保護者様からの要請に対して支援を行っている。                                       | 育児に関する相談などにつきましては、随時対応させていただきますので、お申し出ください。                                   |
|              | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している   | 5 | 0 | 月1回「親の会(茶話会)」を実施し、保護者同士の交流の機会を設けたが、勤務されている保護者はしたくても、参加できないことが多いので、参加者数が少ないのが現状。 | 月1回「親の会(茶話会)」を実施し、保護者同士の交流の機会を設けましたが、参加者数が少ないのが現状です。今後も改善しつつ、交流の機会をもてるよう努めます。 |
|              | 36 | 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している                         | 5 | 0 | 家庭訪問や関係機関訪問は、内容によってはすぐに動ける体制を整えている。   | 苦情・相談窓口の詳細は契約書の重要事項説明書に記載しております。苦情・相談が寄せられた場合は、迅速かつ適切に対応させていただきます。            |
|              | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している   | 5 | 0 | 月に1度のお便り「なかよし」を発行。  | 月に1度、お便り「なかよし」を発行し、毎月の行事などをお知らせしています。   |
|              | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している  | 5 | 0 | 出勤時、個人のスマホはロッカーに保管し、写真などの記録は業務用のスマホを利用し事業所内のみで保管。                               | 個人が特定できる写真、名前、個人情報などが記載してある物の取扱には十分注意をしています。                                  |
|              | 39 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている   | 5 | 0 | 状況に応じて視覚的情報などを活用。   | 状況に応じて視覚的情報などを活用して、意思の疎通や情報伝達に努めています。   |
|              | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている   | 0 | 5 | 特に地域住民を招待する事業は実施していない。  | 地域住民を招待するような事業は予定していませんが、散歩に出掛け際には挨拶をするなど継続していきます。                            |

|         |    |  |   |   |  |   |
|---------|----|--|---|---|--|---|
| 非常時等の対応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している        | 5 | 0 | マニュアルは策定している。                                | 保護者への周知を契約時に行っている。                      |
|         | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている   | 5 | 0 | 避難訓練は、年2回、4月と10月に行っている。                      | 子どもの発達に配慮しながら、避難訓練の実施や動きの確認などを継続していきます。 |
|         | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している  | 5 | 0 | 契約時のアセスメントで確認している。                           | 保護者からの聞き取りを徹底していきます。                    |
|         | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている                                       | 5 | 0 | 契約時、保護者からの聞き取りを徹底している。現在、重篤な食物アレルギーの子どもはいない。 | 保護者からの聞き取りをした結果を職員間で共有しています。            |
|         | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している  | 5 | 0 | 作成して共有。                                      | 事例集を作成し、職員間で情報を共有しています。                 |
|         | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている   | 5 | 0 | 毎月末「虐待防止チェックリスト」でのチェックを全職員で行っている。            | 毎月末、虐待防止チェックリストを用いた評価を行っています。           |
|         | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 5 | 0 | 現在、対象となる子は在籍していない。                           | 対象児がいる場合にのみ対応予定。                        |

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。